

いわみ 議会だより

飛躍！
岩美高校陸上部

6月定例会

- 2 国頭村と姉妹都市盟約締結
主な議案の概要と質疑
- 3 審議結果と賛否
- 4 議会活動の在り方検討特別委員会活動
- 6 5議員が町政を質す^{ただ}
- 12 岩美高校陸上部中国大会出場の活躍



児童交流40年 未来をめざし 国頭村と姉妹都市



児童交流でお互いの伝統文化を披露（奥間小学校体育館）



6月定例会

6月定例会を、6月13日から15日まで3日の会期で開きました。一般会計補正予算など追加14議案を含む21議案を、原案通り可決、同意しました。また、議員発議案3件を可決しました。

姉妹都市盟約の締結

昭和60年の鳥取わかとり国体、62年の沖縄海邦国体で、ともにウエイトリフティングの競技会場となったことを契機に児童交流が始まった沖縄県国頭村と教育、文化、産業などあらゆる分野において、連携・交流を深め、両町村のさらなる繁栄と発展をめざし盟約を締結する。

主な議案の概要・質疑

一般会計補正予算

1億4642万円を増額し、予算総額を72億9862万円としました。

歳出の主なもの

乳幼児健康支援一時預り事業
184万円増額

現在休止している岩美病院での病児・病後児保育を、受け入れ体制が整い次第再開するための保育士の報酬、委託料などの増額。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業
5256万円増額

エネルギー、食料品などの物価高騰による生活への影響を緩和するため、国の支援枠予算に基づき住民税非課税世帯に対して3万円を支給する。

また、町独自の追加支援として、住民税均等割のみ課税世帯に対しても同額を支給する。

経営持続化支援事業

5000万円増額
エネルギー価格高騰に対する事業者への支援として、5年の任意のひと月と前年同月に係る電気、ガス、重油の経費負担を比較して120%を超える部分に対して、50万円を上限に補助をする。

人事

農業委員会の14名の任命に同意しました。
任期は、5年7月20日から3年間で。

（敬称略）

上根 慶万（牧谷）	飯野 幸義（黒谷）	山本 孝博（高山）	奥山 昌一（岩常）	澤 大篤（天谷）	米村 進司（浦富）	福石 幸生（新井）	山本 淳（銀山）	小西 由子（陸上）	大森 正良（馬場）	賀山 圭子（白地）	田中 一行（小羽尾）
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	------------

5月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認した議案】

議案名		議案名	
補正	4年度一般会計補正予算（第11号）（専決処分）	条例	税条例等の一部改正（専決処分）
	5年度一般会計補正予算（第1号）（専決処分）		国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）
			国民健康保険税条例の一部改正

6月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、同意した議案】

議案名		議案名	
その他	財産の取得について	条例	議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正
	町営住宅高畔団地新築工事の請負契約の締結		早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部改正
	鳥取市と岩美町との一般廃棄物の焼却等に関する事務の委託の廃止	議員	総務教育、産業福祉常任委員会の行政事務調査
	姉妹都市盟約の締結		地方財政の充実・強化を求める意見書
補正	令和5年度一般会計補正予算（第2号）		総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査
人事	農業委員会委員の任命 14件		

請願・陳情の審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択の理由等
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める請願	継続審査	—	—
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める請願	不採択	(採 択) 田中克美 (不採択) 橋本 恒、升井祐子 森田洋子、吉田保雄 田中伸吾、寺垣智章 宮本純一、川口耕司 柳 正敏、澤 治樹	政府において早期締結に向けて議論している最中である。大きな問題点として、我が国の司法制度や立法政策との関連もあり、また受け入れる場合には個人通報制度の実施体制など、大きな課題がある。このような状況で現時点では「すみやかな批准」にはならない。
国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	趣旨採択※	(採 択) 田中克美	※委員長報告の趣旨採択に異議があったため、初めに採択に賛成の者を諮り、過半数に達しなかった。次にあらためて趣旨採択に賛成の者を諮り、初めに採択に賛成した者も趣旨採択に賛成し、趣旨採択に賛成の者が過半数に達した。
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	趣旨採択	全員一致	—
地方財政の充実・強化を求める陳情	採択 (意見書提出)	全員一致	—

討 論

女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める請願

採 択

(田中 克美議員)

(不採択)

以前と違って、政府の答弁からも重大な障害はないと思う。また、OECD加盟国で議定書を批准していないのは日本を含めた4か国だけだ。日本が人権を尊重する国としてふさわしい態度をとることを我々としても、政府に求めるべきだ。

不採択

(寺垣 智章議員)

国は議定書の早期締結に向けて引き続き検討を進めており、女子差別撤廃委員会などの意見や議論を踏まえ、条約を積極的に遵守して北京宣言・行動綱領に沿った取り組みを進めている。

国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書

採 択

(田中 克美議員)

(趣旨採択)

実施が今年10月に迫っている今の時期に政府に対して、陳情者の意をくんで意見を述べるべきだ。

議会活動の在り方検討特別委員会

特別委員会は、「政策提言と住民参加」と「議員報酬の見直し」の2本柱を同時並行で7月から検討すること、検討を集中的にすすめることを確認しました。

(1) 政策提言・住民参加

1、検討の方向

政策提言の仕組みづくりを検討の中心に据え、政策提言の仕組みの中に住民参加を組み入れるという方向で検討します。

2、検討方法

①文献研究

次の論文から始める

- ・市町村アカデミー講義「自治体議会の課題と事務局の役割―「政策に強い議会」をつくる」(磯崎初仁教授)
- ・「議会からの政策サイクル」(江藤俊昭教授)

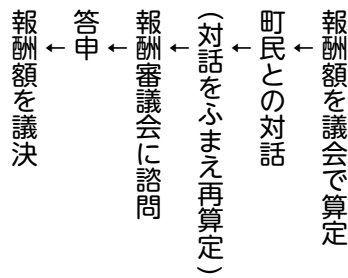
②他市町の事例研究

3、検討の期間

- ・R5年7月～R6年3月
仕組みづくりを検討
- ※検討しながら、実行できるものから実行する
- ・R6年4月
仕組み全体について実行する

(2) 議員報酬の見直し

1、見直しの手順



2、報酬額決定と実施時期

- R7年3月までに議決
- R7年4月実施

3、議員報酬に関する小委員会を設置し、7月から活動開始する。

目的…議員報酬及び算定方法の考え方について検討する

名称…議会活動の在り方検討特別委員会議員報酬に関する小委員会

定数…6名
委員構成…特別委員会の正副委員長・各常任委員会の委員長、女性議員2名

スケジュール表

政策提言・住民参加の仕組みづくり		議員報酬の見直し
○仕組みづくりを検討 (※実行できることは着手)	5年7月	○岩美町議会における議員報酬の考え方について検討
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	○報酬の算定方法の検討及び金額の算定
	6年1月	
	2月	○町民との対話について検討
	3月	
○仕組みの実行に着手	4月	○町民との対話を開始

第1回小委員会(7月6日)

1、検討課題

- ①岩美町議会における議員報酬の考え方
- ②報酬の算定方法と具体的な金額の算定
- ③町民との対話の方法・期間

2、検討方法

- ①町村議会議長会の報告研究
2つの報告を研究する
・「町村議会議員の議員報酬のあり方」最終報告(平成31年3月)
- ②他市町の事例研究
※小委員会は節々で特別委員会に報告・議論し前にすすむ。

タブレット端末導入 に関する小委員会 行政事務調査

調査先

江府町議会、大山町議会

調査日

令和5年5月15日

調査の目的

本町議会は、開かれた議会の実現と効率的で迅速な議会運営をめざし、タブレット端末の導入を検討するため小委員を設置した。

先進的にタブレット端末を導入し、議会運営をはじめ、議会活動などに活用している県内の町議会の中で、2町議会を選んで視察を行った。

調査のまとめ（表参照）

本町議会にとってタブレット端末導入の目的をどうするかをしっかりと協議し、行政事務調査の結果を参考に、適切なタブレット端末を導入することで、議会活動をさらに活性化させるきっかけとしたい。

調 査 先	江府町議会	大山町議会
運 用 開 始	令和3年度	
目 的	会議、連絡手段	会議、web 会議、連絡手段、非常時対策、効率・省力化、コスト削減
導 入 方 法	購入、貸与	リース、貸与
通 信 手 段	Wi-Fi	Wi-Fi + モバイル通信
機 種	iPad Air	iPad Pro
執 行 部	ノートパソコン	ノートパソコン（リモート用）
会 議 シ ス テ ム	メタモジノート（無料） ※手書きノートアプリ	サイドブックス（有料） ※ペーパーレス会議システムで 県内で多く採用されている
自 己 負 担	タブレット維持管理费用など、議員負担なし	
メ リ ッ ト	（共通事項） - 情報のスピード化（連絡など） - 資料がデータ化され、扱いや検索等が容易 - 用紙等削減によるコスト削減 - 印刷、配布作業がなくなり業務の効率・省力化	
デメリット	（共通事項） - 蓄電池の消耗による定期的な更新が必要 - 蓄積されるデータの管理（文書整理が課題）	
視察の様子		

一般質問

5 議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

6月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
橋本 恒	7	1 ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた観光振興
森田洋子	8	1 誰ひとり取り残さないがん対策の推進を 2 エシカル消費の理解と促進を
升井祐子	9	1 遊具の価値と安全点検 2 山陰近畿自動車道による今後の発展は
田中克美	10	1 公衆電話の設置について 2 令和4年実施した「聞こえアンケート」について 3 町の農業の持続的発展について
吉田保雄	11	1 町内の農業施策について 2 「道の駅」の更なる活性化について

- ・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。
- ・会議録は、9月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。
- ・ページ左下のQRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

Free!の原風景をARで残す 取り組みを

橋本 恒議員

面白い試みだと思う

長戸町長



橋本 恒議員

橋本 山陰海岸ジオパークは、昨年の再認定審査で2年間の条件付き再認定となったが、審査結果の詳細は。

町長 兵庫県のジオスポットに隣接した民間運営の博物館での鉱石類を販売中止することなど4点の指摘があった。

橋本 地元紙の柚洞鳥取環境大学准教授のインタビュー記事に、山陰海岸ジオパーク推進協議会の運営体制をゼロから作り直す覚悟も必要だとの発言があったが、どのような対応が必要だと考えるか。

町長 山陰海岸ジオパーク推進協議会の活動とは別に、各自治体が独自に事業を展開しており、一体感が薄れていると指摘されている。

山陰海岸ジオパーク全体を、一つのエリアとする組織としての活動の推進も重要だ。

橋本 浦富海岸は白砂青松の渚と言われ、松は美しい海岸線の重要な構成要素だ。

本町では適切な松くい虫予防事業を行っているか。

町長 29年まで空中散布を実施していたが、現在は取りやめている。

最近、枯れ松を散見するので、景観上支障のある枯れ松は伐採したい。

橋本 浦富海岸の多様な景観の中で、千貫松島はシンボリックな存在だ。

海食洞門の島自体の造形も美しいが、千貫松あつてこそ
の景観だ。

千貫松を次の世代に引き継いでいく対策は。

町長 千貫松は観光面だけでなく、歴史的にも重要な意味合いを持つている。

松くい虫被害防止のため、毎年6月に農薬地上散布を実施している。

橋本 Free!のラッピングバスを町営バスで運行できれば、観光の目玉になるのではないか。

町長 以前、取り組みに向かったが、製作会社の了解が取れなかった。

改めて製作会社に問合せたが、今現在回答がない。

橋本 Free!の原風景が失われている。

今はなくなった作品中の建物を、AR（拡張現実）で残す取り組みをしないか。

町長 面白い試みだと思う。

ARはキャラクターの部分は今進めているが、次年度以降、原風景復元の取り組みは検討し、PR方法も工夫したい。

橋本 Free!の映画第一作は岩美中学校がロケ参考地で、学校の風景や校舎内が正確に描かれている。

中学校を公開するイベント

ができれば、聖地巡礼の目玉になるのではないか。

町長 今の学校がそのままきれいに描写されていると認識している。

限定的になるか分からないが、春休みとか期間を限って公開できるような取り組みを検討したい。

橋本 本町のSNSの情報拡散力は、現状力不足。

一方、テレビの情報拡散力はいまだ絶大だ。

テレビのロケ地や番組で取り上げられる取り組みが必要ではないか。

町長 情報をメディアに提供し、番組に取り扱ってもらうよう取り組みたい。

特に、関西圏では地元縁がありメディアにつながっている方の情報もいただき、積極的に広域的なマスメディアに情報提供したい。



聖地巡礼で田後を訪れたFree! ファン



(このQRコードから動画が
ご覧いただけます)

乳幼児健診時に自己触診シートの配布を

森田洋子議員

早速、取り組みたい

長戸町長



森田洋子議員

ワクチンの接種を、小学6年生から高校1年生を対象に実施しているが、昨年度は608名中38名だった。

接種率が低いので、再度正しい情報を周知したい。

森田 がんから町民の命を守り、また、がんになっても希望を持って生活できるように、早期発見、早期治療に向けた、さらなるがん対策が必要だ。がん発症の大きな原因である生活習慣病と感染症に対する取り組みはどうか。

森田 第4期がん対策推進計画が閣議決定され、がん検診率の目標が60%に引き上げられた。町民の方から乳がん検診が2年に1回だが、毎年1回にならないかとの声があるが、毎年1回に増やせないか。

町長 関係機関と調整が必要なので毎年実施できるか検討してみたい。

森田 若い世代の乳がん検診率が低い状況だが、日頃から胸部の状態を自己チェックでき、早期発見に役立つ自己触診シートを乳幼児健診時に配布してはどうか。

町長 早速、取り組みたい。

森田 膀胱がんや前立腺がんの手術後など、尿漏れパッドが必要な方のために、本町の公共施設の男性トイレに、サニタリーボックスの設置をしてはどうか。

町長 早急に全ての公共施設に設置したい。

小中学校でエシカル消費の学びの充実を

森田洋子議員

よりよい消費者としての資質、能力の育成を図る

大西教育長

森田 消費者庁はエシカル消費を呼びかけている。

小中学校のエシカル消費を消費者教育に位置づけ、取り組んではどうか。

組んではどうか。

教育長 子どもたちの思いや保護者の意見を聞いてみたい。

教育長 取り組んでいるが、今後は、よりよい消費者としての行動力、持続可能な社会の担い手としての資質、能力の育成を図りたい。

※エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。

森田 地産地消や無添加食品にこだわった安全・安心のエシカル給食を、月に何日か設けてはどうか。

教育長 9月は県民の日、10月は若美の日を設け、地域の食材を使い、できる限り無添加調味料を使用する取り組みをしている。

森田 学校給食にマイ箸を使用してはとの声がある。エコ意識が高まる中、取り



若い世代の方に届けたい自己触診シート



(このQRコードから動画がご覧いただけます)

ストリートファニチャーを 設置しては

升井祐子議員

宝くじ助成金などで前向きに 検討する

長戸町長



升井祐子議員

町長 履歴書の整備を検討する。

升井 町民の健康維持の観点から、屋外の公共空間で、軽い運動や休憩ができる、ストリートファニチャーの設置を考えてはどうか。

町長 希望があれば、宝くじ助成の活用を検討したい。



ストリートファニチャー（一例）

岩美道路全線開通と本町の展望は

升井祐子議員

本町が目的地となるよう取り組む

長戸町長

升井 山陰近畿自動車道・岩美道路が全線開通した。

企業の誘致や生産活動の促進による、雇用の拡大、高速道路の整備効果はどうか。

町長 一番効果があったのは、新築住宅が増えたこと。人口増加に繋がる。

升井 地震や大規模災害の緊急輸送道路としての機能が期待される。

道路開通で、どのように町民の暮らしを守っていくのか。

町長 災害時での迅速な対応に繋がる。

備蓄品は、アレルギー食の対応や、屋内デントの整備、発電機やスポットエアコンなど、連携備蓄でないものは、町独自で随時補充したい。

升井 本町の砂浜海岸の魅力は外見の美しさだけではない。

近年、素足を大地や海に触れさせる健康法が注目されているが、パソコン業務の多い現代人にとって、心と体のデトックス、癒しの場としても発信してはどうか。

町長 今後は、裸足で歩けるきれいな砂浜もPRの一つの材料としたい。



足裏が気持ちいい～（大谷海岸）

升井 今後、近畿方面や他県の方々とのように交流し、本町を発展に導いていきたいか。

町長 本町が通過点でなく、目的地となっていくように、近隣市町と一体となって、関西圏からの誘客拡大にしっかりと取り組む。



（このQRコードから動画が
ご覧いただけます）

公衆電話を活用し災害時に備えを

田中克美議員

通信手段の確保をよく研究したい

長戸町長



田中克美議員

町長 提案された災害時の優先通話サービスの範囲についてあらためて確認し、福祉避難所を先にやるかどうかも含めて、避難所について整理し、通信手段の確保についてよく研究してみたい。

田中 アンケートをやった良かったと思うことは。

町長 町内高齢者の聞こえ方を把握することを目的に、アンケートを行なった。

アンケートは記名式で行ない回収率75%だった。補聴器の使用者は5%だが、3割が聞こえに不安を感じているという結果だった。

アンケートにより、耳が聞こえにくいことに家族が気付いたとかあり、やって良かったと思うている。

田中 聞こえの実態調査を提案した当時、聞こえのことしか認識がなかったという反省がある。

補聴器購入したすべての人が、補聴器を使えるような支援につながるアンケートになったか。

町長 私も聞こえ方に主眼を

聞こえアンケート生かし再調査を

田中克美議員

保健師が訪問し聞き取り調査する

長戸町長

置いたと反省がある。補聴器の使用についての支援策にはつながっていないと思っている。

田中 記名回答を生かし、聞き取り調査をやってほしい。難聴者支援の仕組みづくりに関与する調査についても、調査を検討してほしい。

町長 対象をしばらく保健師が訪問して、個別の聞き取りをしようと思う。

その他の質問

町の農業の持続的発展について

田中 町の避難所として、指定緊急避難場所（15カ所）と指定避難所（5カ所）がある。前者のうち岩美中、きんせ岩美の2カ所、後者のうち小田地区基幹集落センターの計3カ所に通常の公衆電話がある。

特設公衆電話が指定避難所の3小学校と岩美中に事前設置されている。

町の「地域防災計画」（2017年5月策定）は、町の防災通信手段の一つとして「NTTの一般加入電話及び携帯電話（災害時優先登録）」と記述している。現況はどうなっているか。

町長 特設公衆電話は言われたように4カ所で災害時に通話できる状態になっている。質問通告を受けて、小田地区基幹集落センター、蒲生活性化施設、役場に特設電話が必要だと考え、早速NTTに申し込んだ。

田中 町の避難所として12カ所の福祉避難所がある。

各施設が使用している固定電話が災害時優先通信サービスを受けることができるか、できなければ特設公衆電話の事前設置を要請してはどうか。

また、公衆電話のない13カ所の指定緊急避難場所も、災害時に地域の方がそこに行けば送信できる場所となるよう、特設公衆電話の事前設置を要請することを検討してはどうか。



災害時にそなえ避難所運営を訓練（岩美西小学校体育館）



（このQRコードから動画がご覧いただけます）

米作に本格的な支援を

吉田保雄議員

産業として成り立つよう 支援したい

長戸町長



吉田保雄議員

吉田 ここ5年程度の町内米作はどのような状況か。

杉本農林水産課長 米作は、30年度2527トン、4年度2518トンとなっている。水稲の作付面積は、30年度547ヘクタール、4年度が562ヘクタールとなっている。

吉田 町では、①平地部の稲作、②中山間地に点在する稲作、③農業者が確保できない田んぼが点在する稲作、④やむなく稲作を中止する田んぼの処置、⑤横尾の棚田のような棚田の稲作、それぞれが

大変な問題を抱えている。本格的な支援を行う必要があると思うがどうか。

町長 米価を上げていければ良いと思われるが、農業者自らが米価に関われない事もあって、飼料米での対応、ソバなどへの転作、肥料の有効活用、有害鳥獣への対策などを支援している。

農業再生機構や議会と都度相談しながら、必要な施策を遅れることなく実施する。

町の農業が後世に残っていく産業として成り立つていくように、支援をして行きたい。

吉田 『石美町モデル』というような施策により、農業を維持推進していくべきと思う。

①農作業従事者の育成や、臨時作業者の斡旋、②中小型農作業機器の整備やリース、③GPS機能付き機器の購入



田植えがおわった6月の棚田（横尾）

補助や貸し出し、④農地のさらなる区画整理、⑤米の応用商品の開発と6次産業化の推進などの取り組み、さらには、受託作業の単価の見直しなどが必要と思うがどうか。

町長 生産集団や新たな農業の担い手確保に際して、町単独の資金助成の制度もある。

また、提案の内容を町農業再生協議会に諮ってできることから取り組みを広げていきたい。

「道の駅」のさらなる活性化を

吉田保雄議員

できることは力いっぱい 支援していく

長戸町長

吉田 「フレッシュライフいわみ」閉店を受けて、近隣の買物環境が大きく変わろうとしている。

町の対応はどうか。

町長 道の駅とサンマート間の町営バス運行を検討している。

移動販売車の運行継続も町として、JA鳥取いなばに要請している。

吉田 6次産業化の状況は。

町長 町内産大豆による豆腐や味噌の製造で、道の駅の販売や学校給食、保育所への食料提供など行っている。

また、ソバの乾麺の加工にも取り組んでいる。

吉田 道の駅のさらなる活性化に向けて、朝市実行委員会を立ち上げるなど、道の駅をさらににぎやかなものにでき

ないか。

町長 道の駅のにぎわいは、桜祭り、ゴールデンウィーク祭り、マブロの解体ショー、盆の花市、秋の味覚祭りなど多くの企画を行ってもらっている。

新型コロナウイルス感染症の分類変更後の入出を期待しており、町としても、できることは力いっぱい支援していく。



(このQRコードから動画がご覧いただけます)

岩美高校陸上部

中国大会出場の活躍

岩美高校陸上部が中国大会に出場し、徳本選手の円盤投げ8位入賞など活躍をしました。「よき競技者である前に、よき高校生であれ」と日々精進している陸上部を、議会も町民と一緒に応援していきます。

リレー

主将 2年 藤原 伸也

僕が練習で頑張ってきたことは、体力作りとスピード練習です。僕の専門種目は中距離で、体力とスピードの両方が求められるのでバランスよく頑張ってきました。今後の目標は、個人種目とマイルリレーの優勝です。そのためには、この夏にしっかりと走り込んで勝てる選手になります。



左から片山選手、藤原選手、山田選手、田中選手、西亀監督



左から徳本選手、南部選手、岩村選手、森本監督

リレー

2年 片山 優心

僕が練習で頑張ってきたことは、走り方の改善や苦手の体力作りです。僕は走り方が前傾姿勢で、それが原因でケガをしてしまうことがあったので少しずつ修正しました。また、400mでも体力が大切になってくるので、苦手の走り込みに目を向けて頑張りました。新人戦、県1位になります。

リレー

2年 山田 聖恭

僕が練習で頑張ってきたことはJOGです。400mは身体的に1番しんどい種目だと思っています。勝つためには、まずは足作りが必要だと思うので、基本であるJOGを頑張りました。今後の目標は、個人で中国大会、マイルリレーでインターハイ出場を目指します。

リレー

1年 田中 空翔

僕が練習で頑張ってきたことはJOGです。朝練習でもJOGを行い、放課後の練習でもJOGを中心に頑張りました。今後の目標は、さらなる体力向上です。ラストの200mからの勝負に勝てるように「我武者羅」になって今以上にJOGをして力をつけます。

西亀 剛史 監督 (トラックチーム)

「岩美高校で陸上競技を頑張りたい」
このような思いを持った選手との出会いから、少しずつチームの形が生まれて来たように感じています。今後も岩美町の皆様に応援していただけるように積み重ねを行いますので、温かいご声援をよろしくお願いします。

円盤、ハンマー投げ

2年 徳本 耀星

日々の練習を頑張るのはもちろんですが、一般の競技者の方に教えていただいたり、合宿で習った事をメモしたり動画を見て研究したりしました。中国大会はベスト8に入れましたが、全国切符は逃しました。次こそ狙います！応援よろしくお願いします。

ハンマー投げ

2年 岩村 琥太郎

冬季練習は、ウエイトトレーニングを中心に肉體改造を意識してきました。また、強豪校と合同練習を重ねました。しかし、中国大会では力の差を見せつけられ悔しい思いをしたので、新人戦では中国大会に出場し、ベスト8を狙いたいと思います。

ハンマー投げ

3年 南部 朱里

ハンマー投げは股関節が重要です。私は、股関節がかたかったのでストレッチを頑張りました。中国大会でも丁寧にケアすることができ、納得いく形で競技を終えることが出来ました。これから、就職活動をスタートさせます。部活で学んだ行動や考え方などを生かし、自分の夢に向かって頑張ります。応援ありがとうございました。

森本 亜希 監督 (投てきチーム)

岩美町の皆様にはたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。生徒たちの技術習得の吸収力は素晴らしく、より遠く投げるために熱心に取り組んでいます。今回の県総体と中国総体の結果も、日々の練習の成果だと思います。今後も、常に自己記録更新を目指してひたむきに練習を積み重ねていきます。よろしくお願いします。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
升井	森田	吉田	田中	柳	田中	寺垣	橋本	足立
祐子	洋子	保雄	伸吾	正敏	克美	智章	恒	義明

大雨に見舞われた梅雨となりました。大きな災害はありませんでしたが、がけ崩れや家の浸水など、被害にあわれた皆様へお見舞い申し上げます。編集後記を書いて現在の、まもなく梅雨明けとなりそうですが、とにかく暑いです。町民の皆様は体調に十分ご注意ください。議会だよりは、町民の皆様に見やすく分かりやすい紙面を心がけて編集しています。是非一読していただきましてご意見ご感想をお聞かせください。

寺垣 智章

編集後記